

各 位

高知県病虫害防除所長

平成19年度 病虫害発生予察技術情報第1号(果樹カメムシ類)の送付について

予察灯における果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシなど）の5月の捕殺頭数は、発生が多かった昨年に比べると少ないものの、県東部では過去5年間では昨年に次ぐ頭数となっています（第1表）。また、フェロモントラップ調査においても西部で発生が多かった昨年並の頭数で（第2表）、中央部でも第6半旬になって急増しています(第3表)。

昨年から本年にかけては暖冬で推移したため、例年より多くの果樹カメムシ類が越冬したものと思われ、西部では農家設置のブラックライトトラップに 3,000 頭を超えるカメムシ類が誘殺されたり、県内各地の果樹園においても飛来が多く見られるとの情報が寄せられています。

本虫はビワやカンキツ類が栽培される温暖な地点で越冬し、そのような地点に偏在して生息していると思われ。今後、気温の上昇に伴い越冬成虫の活動がますます活発になると、広い範囲でカンキツやナシ等の幼果や新梢で被害が発生すると予想されることから、その発生推移に留意し、飛来を確認したら防除を行ってください。

防除対策

- 1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回して、飛来を確認したら早急に防除を行なう。
- 2) 移動性が大きいので、可能であれば広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- 3) 防除等の詳細については、県防除指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農業安全使用基準を遵守する。

第1表:予察灯<sup>※1</sup>によるカメムシ類<sup>※2</sup>の捕獲頭数 (5月1～31日合計)

年度 地点 <sup>※3</sup>	'03	'04	'05	'06	'07
東 部	4	0	0	25	20
中央部	1	0	0	70	4
中西部	2	5	0	130	0
西 部	1	1	0	8	0
合 計	8	6	0	233	24

※1 60W白色灯

※2 チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ合計

※3 東部:安芸市川北、中央部:香南市野市町深淵、中西部:須崎市押岡、西部:四万十市竹島

第2表:フェロモントラップによるカメムシ類<sup>※4</sup>の誘殺頭数(5月1～31日合計)

年度 地点 <sup>※5</sup>	'03	'04	'05	'06	'07
東 部	340	67	8	102	86
中央部	116	425	56	174	138
中西部	112	289	68	304	66
西 部	174	179	37	566	547
合 計	742	960	169	1,146	837

※4 チャバネアオ、ツヤアオ、クサギ、オオクモヘリ各カメムシ類合計

※5 東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町宮ノ口、中西部:須崎市戸波浦、西部:四万十市名鹿

第3表:フェロモントラップによるカメムシ類の5月半旬別誘殺頭数の推移

	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	合計
中央部	7	3	0	2	23	103	138